2020.8.22-23希望創発研究会（８月例会・オンライン）を実施

希望創発研究会

教育研究システム

研究テーマ

研究会スケジュール

例会実施報告

参画メンバー

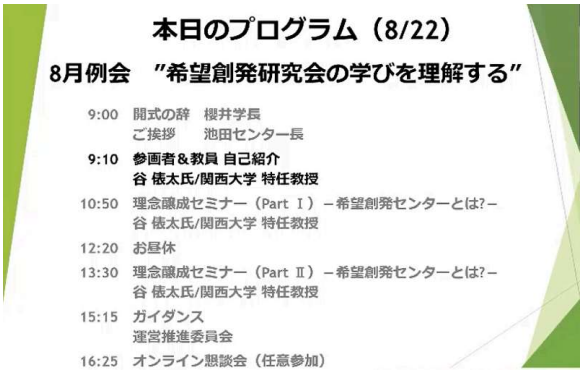
参画メンバー募集について

2020.8.22-23希望創発研究会（８月例会・オンライン）を実施

公開日 2020年9月23日

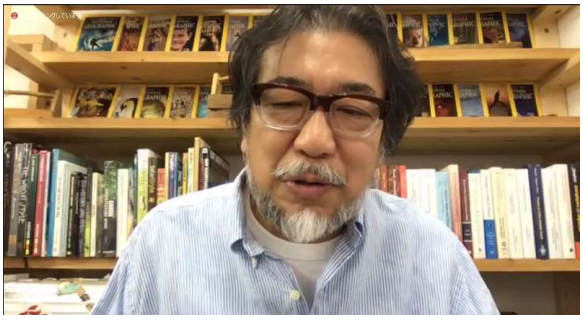
８月２２日（土）-２３（日）、２０２０年度の１回目となる希望創発研究会（８月例会・オンライン）を実施しました。４月開始の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて開催ができず、開始時期・開催方法を探ってまいりました。オンライン開催にチャレンジすることになった今回は、東京など県外企業人・高知県内企業人合わせて２０名、学生２１名、その他関係者２９名の計７０名が参加しました。

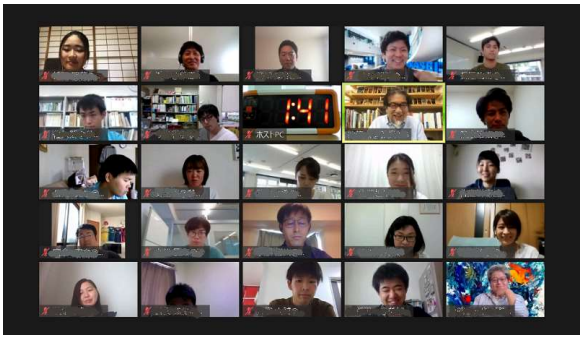
１日目



「インタビュー形式で参画社員と学生を紹介」

インタビュアー：関西大学　谷 俵太氏（希望創発センター　客員教員）





理念醸成セミナー１「希望創発センターとは？センター理念・基本方針について」

センター立ち上げに関わった教員を谷 俵太氏がインタビューし、センターが作られた目的や希望創発研究会がめざすことに迫っていただきました。

続いて、「創発」とは何かを考えるヒントとして、昆虫の世界を例に「生物社会の進化・多様性・創発」について、高知大学　農林海洋科学部の鈴木 紀之先生（希望創発センター　兼務教員）にお話いただきました。

理念醸成セミナー２「グループワークで考える　希望とは？創発とは？」

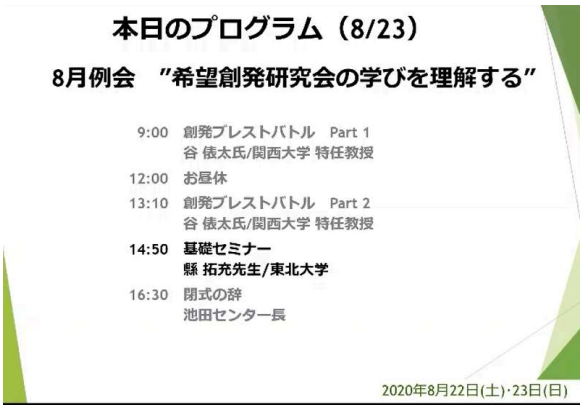
午前中にインプットした情報を踏まえて、各自の考えを発散する機会として、グループワークを行いまし

た。今回は敢えて企業人同士、学生同士のグループ編成です。

ガイダンス１「希望創発センターの理念と実践と人づくり」

希望創発センター　池田 啓実 センター長と大島 俊一郎 副センター長にお話いただき、１日目のプログラムは終了しました。

２日目



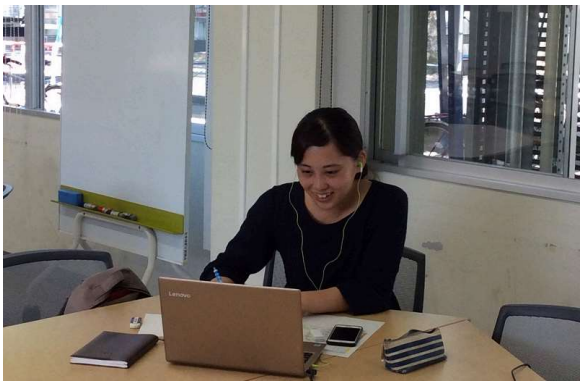
昨日に引き続き、講師　谷 俵太氏による創発の体験ワークを２回行いました。

創発ブレストバトル１「不便益な文具を考える」

創発ブレストバトル２「アイデアバトル！新しいドライブスルーを考えてみる」

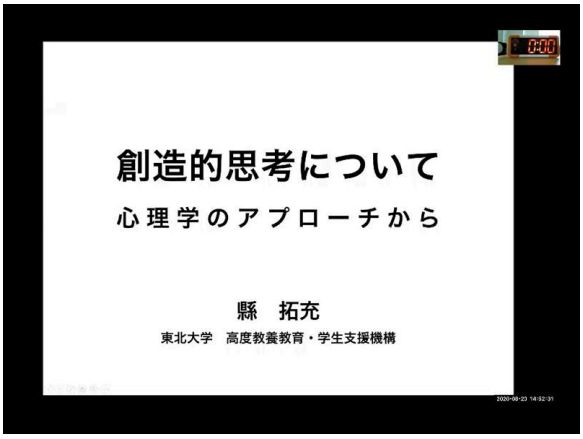
ブレストバトルの手順

1. チーム分けとテーマ設定
2. 個人のアイデア出し（5分）
3. チームごとのアイデア出し（30分）
4. アイデアエントリー（10分）
5. プレゼンテーションバトル（1人1分）



基礎セミナー「創造的思考について」　講師　東北大学　縣 拓充氏

２回のワークで遊び心・想像力が引き出されてきた参加者に向けて、体験の理論づけを行っていただきました。



＜参加者の声＞

・セミナーでは創発についての様々な考え方(捉え方)があったが、希望創発ということはどういうことなのか考えていきたいと思った。

・「社会における漠然とした閉塞感」については自分自身が常日頃感じていることであり、そうしたなかで、「意味」と「意義」という切り口で現在の状況を切り取っているのは新鮮であり、納得感があった。

・生物学から見た創造の話は大変おもしろかった。虫たちは進化の過程であえて少数派を目指し、その結果多様性と創造が生まれたとすれば、多数派で安心する私たちから創造が生まれないのも納得できる。創造を生む場では、「正しい・間違えない」ことよりも「個性を持った考え」で取り組みたい。

・「不便益」ということに頭を巡らせたことがなかったので新鮮だった。現在の社会は、便利さを追いかけすぎている気がするため、不便益を考えることは「遊び」があって面白いと感じた。

・過去にアイデアが出やすい条件というものについて自分が見聞きしたことや感じた事が順序立てて言語かされていて、ワークの後に講義をいただいたことで個人的には共感することが多かった。

・２日間通してのオンラインで、進め方やコミュニケーションの取り方に難しさは感じたが、とても楽しく時間を過ごすことが出来た。非常に多様な人材が参画されていて、それぞれの方ともっと話をしてみたいと思うし、願わくば早くコロナが収束して直接のコミュニケーションが取れることを願っている。

トップページへ戻る▶

希望創発センター

Center of Education and Research for Hope-Emergence

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1
国立大学法人 高知大学 学務課
学習・研究サポート係（希望創発センター）
TEL:088-844-8440

©2019 高知大学希望創発センター